

氏名	金村 尚彦	部署	大学院 理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学, 運動器理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	広島大学大学院医学系研究科				
経歴	平成20年4月 埼玉県立大学 講師 平成24年 同大学准教授 平成28年 同大学 教授 平成31年 同大学 大学院研究科長, 令和7年 理事, 副学長、高等教育開発センター長				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、米国神経科学学会、米国整形基礎学会、日本運動器理学療法学会（監事）、日本基礎理学療法学会（評議員）、軟骨代謝学会、専門リハビリテーション研究会（理事）、（公社）埼玉県理学療法士会（学会評議委員会）、日本整形内科学研究会（理事）				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Spatiotemporal dynamics of exercise-induced macrophages influences axonal regeneration after peripheral nerve injury	共著	あり	○	Biomedical Research 47(2) 55-66	Kyosuke Fukuda, Yuki Minegishi, Michiaki Sato, Yuta Sakamoto, Satoshi Shimo, Takashi Amari, Kenji Murata, Naohiko Kanemura	2026.3
2	Muscle-specific neural modulation in biarticular semitendinosus and biceps femoris during isometric torque generation	共著	あり	○	Journal of Neurophysiology 135(1) 241-248	Keisuke Kubota, Taku Miyazawa, Keisuke Hirata, Naohiko Kanemura	2026.1
3	Development of an automated method for analyzing muscle dynamics across different morphologies based on B-mode ultrasound images	共著	あり	○	Journal of Biomechanics 113162	Taku Miyazawa, Fumiya Sasaki, Hiroki Hanawa, Keisuke Kubota, Keisuke Hirata, Tsutomu Fujino, Miho Arai, Naohiko Kanemura	2026.1
4	The medial gastrocnemius fascicle shortening and tendon lengthening in static standing are associated with age-related postural instability in older adults	共著	あり	○	Journal of Applied Physiology 139(5) 1206-1219	Taku Miyazawa, Hiroki Hanawa, Keisuke Kubota, Keisuke Hirata, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura	2025.11
5	Walking speed and incline impact on mediolateral-stability control	共著	あり	○	Gait & Posture 121 155-159	Nanami Kanda, Naohiko Kanemura , Keisuke Hirata	2025.9
6	Does achieving gait symmetry during split-belt adaptation reflect corticospinal involvement in stroke survivors?	共著	あり	○	Journal of Neurophysiology 134(3) 916-927	Keisuke Hirata, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Naohiko Kanemura	2025.9
7	Immobilization management of acute phase increases healing ligament strength	共著	あり	○	Cell and Tissue Research 401(2) 155-165	Chiharu Takasu, Sora Kawabata, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Yuri Morishita, Yuichiro Oka, Kiyomi Takayanagi, Naohiko Kanemura , Kenji Murata	2025.8

8	Automated analysis of ultrasound images to measure muscle-tendon junction excursions by using the multiple feature point tracking algorithm	共著	あり	○	Ultrasonic Imaging 47(3月4日) 125-133	Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Hiroki Hanawa, Keisuke Hirata, Tatsuya Endo, Tsutomu Fujino, Katsuya Onitsuka, Moeka Yokoyama, <u>Naohiko Kanemura</u>	2025.7
9	Controlling joint instability reduces inflammatory pain in early knee osteoarthritis	共著	あり	○	Cureus 17(7)	Aya Kuroo, Kenji Murata, Yuri Morishita, Katsuya Onitsuka, Yuichiro Oka, Ken-ichi Tanaka, <u>Naohiko Kanemura</u>	2025.7
10	Effectiveness of Low - Intensity Exercise in Mitigating Active Arthritis Exacerbation in a Mouse Rheumatoid - Arthritis Model	共著	あり	○	Journal of Orthopaedic Research® 43(5) 949-961	Kaichi Ozone, Tatsunori Kumagai, Kohei Arakawa, Takehito Sugawara, Wenchao Gu, Sora Kawabata, Naoki Shimada, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Yuki Minegishi, Kei Takahata, Michiaki Sato, Yuichiro Oka, <u>Naohiko Kanemura</u>	2025.5
11	Timed Up and Go (TUG) Predicts Changes in the Kihon Checklist After Six Months of Continuous Participation in "Kayoinoba"(Community Gathering Places)	共著	あり	○	Cureus 17(5)	Takashi Nasu, Keisuke Kubota, Hiroo Furusawa, Takaya Abe, Toyohiro Hamaguchi, <u>Naohiko Kanemura</u> , Yoshinori Kitabatake, Toshiyuki Yoshida, Takahito Nakamura, Yuji Matsumura	2025.5

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	SPARCは変形性関節症を模倣した軟骨細胞において異化・同化関連遺伝子の発現を増強させる	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○島田 直宜, 峯岸 雄基, <u>金村 尚彦</u>	2026.1
2	慣性センサーによる床反力推定モデルの最適化と歩行条件別特徴量の比較	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○吉野 晃平, <u>金村 尚彦</u> , 久保田 圭祐	2025.11
3	歩行と走行における足底腱膜の運動力学的挙動の違い	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○松本 優佳, <u>金村 尚彦</u> , 荻原 直道	2025.11
4	RGBDカメラによる関節モーメント推定を活用した膝OAの運動モジュール解析	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○久保田 圭祐, 青木 治雄, 中村 綾太, 山口 純汰, 吉田 健太郎, <u>金村 尚彦</u>	2025.11
5	変形性膝関節症における運動の関節軟骨保護に関与するmicroRNAの探索	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○山口 純汰, 二瓶 孝太, 島田 直宜, 岡 優一郎, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2025.11
6	腰椎変性疾患に対する脊柱固定術後の身体活動パターンと術後アウトカムの関連	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○遠藤 達矢, <u>金村 尚彦</u> , 佐藤 圭汰, 三浦 拓也, 岩渕 真澄, 白土 修, 伊藤 俊一	2025.11
7	関節リウマチモデルマウスにおける低強度運動の関節炎および骨破壊保護効果の性差	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会 大阪市	○小曾根 海知, 冬至 莞大, 谷村 大樹, 熊谷 竜徳, 早尾 啓志, 荒川 航平, 高畠 啓, <u>金村 尚彦</u> , 高橋 英明	2025.11

8	脂質ラフトの調整が軟骨細胞の炎症ストレス受容システムに与える影響の解明	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○二瓶 孝太, 川端 空, 高須 千晴, 曾根 賢太, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2025.10
9	組織動態変化の定量的評価に向けた画像解析プログラムの開発および精度検証	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○新井 美帆, 宮澤 拓, 平田 恵介, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
10	廃用性関節軟骨における遺伝子的変化の探索と検証	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○押田 竜河, 高橋 郁文, 二瓶 孝太, 眞下 葵, 川端 空, 高須 千晴, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2025.10
11	メカニカルストレス減少は細胞膜カルシウムチャネルを介して軟骨細胞の機能低下を誘導する	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○村田 健児, 高橋 郁文, 押田 竜河, 二瓶 孝太, 川端 空, 高須 千晴, 曾根 賢太, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
12	閉経後骨粗鬆症モデルとしての4-ビニルシクロヘキセンジオキンド投与マウスの有用性	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○眞下 葵 押田 竜河, 川端 空, 高須 千晴, 二瓶 孝太, 須永 康代, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2025.10
13	関節不安定性の抑制によって変化する疼痛関連因子の探索	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○黒尾, 森下 佑里, 峯岸 雄基, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
14	急性期固定による靱帯力学強度向上メカニズム解明に向けた網羅的遺伝子解析	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○高須 千晴, 川端 空, 岡 優一郎, 二瓶 孝太, <u>金村 尚彦</u> , 高柳 清美, 村田 健児	2025.10
15	ACL自己治癒過程における機械感受性の変化	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○熊谷 竜徳, 島田 直宜, 櫻井 隆平, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
16	末梢神経損傷後の神経-血管クロストークを捉える生体内凍結固定法による組織学的観察とその妥当性の検証	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○福田 京佑, 坂本 祐太, 志茂 聡, 甘利 貴志, 高須 千晴, 久保田 圭祐, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
17	加齢性脂質代謝異常は老化誘導因子p16を介して後根神経節の細胞老化を誘導する	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○川端 空, 二瓶 孝太, 高須 千晴, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2025.10
18	運動が修復型シュワン細胞の転写ネットワークに及ぼす影響	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○峯岸 雄基, 岡 優一郎, 川端 空, 島田 直宜, 櫻井 隆平, 熊谷 竜徳, 山口 純汰, 加納 拓馬, 黒尾 彩, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
19	若齢者・高齢者・変形性膝関節症者における筋活動のPreferred Directionの比較と運動制御戦略の検討	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○久保田 圭祐 宮澤 拓, 平田 恵介, 塙 大樹, 藤野 努, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
20	高齢者における片脚立位保持中の運動多様性の減少	共同	第30回日本基礎理学療学会学術大会 大分市	○藤野 努, 塙 大樹, 宮澤 拓, 横山 萌香, 久保田 圭祐, 平田 恵介, <u>金村 尚彦</u>	2025.10
21	エラストグラフィーを使用しない筋伸張性の評価方法の開発	共同	第13回日本運動器理学療学会学術大会 大阪市	○宮澤 拓, 新井 美帆, 佐々木 郁也, 塙 大樹, 久保田 圭祐, 平田 恵介, <u>金村 尚彦</u>	2025.7

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)		光遺伝学的手法と運動療法を併用した末梢神経損傷後の新規治療戦略の創出	研究代表者	2022.6-2026.3
2	埼玉県立大学奨励研究費 (A)		変形性膝関節症動物モデルを対象とした運動による関節軟骨保護に関与するmicroRNAの探索	研究代表者	2025.4-2026.3
3	埼玉県立大学奨励研究費 (科研費コース)		損傷膝前十字靱帯の自己治癒における神経連関機能の運動療法による賦活化	研究代表者	2025.4-2026.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	理学療法研究法演習		2	文献検索の方法や研究論文を読むために必要な統計学を解説した。	
2	理学療法管理学		13	理学療法業務にあたり、管理に関する事項や医療保健動向やカルテに関する解説を行った。	
3	障害基礎解析学特論	○	10	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の解説を行った。	
4	理学療法症候障害論	○	4	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について解説した。	
5	保健医療福祉学際英語		2	国際学会での学会発表においてのポイントについて、実例を交えて講義を行った。	
6	リハビリテーション教育学Ⅱ		2	チーム形成、組織管理、人事管理に関して解説した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	機能診断学実習		16	運動器疾患に関する整形外科テスト（下肢）について、運動学、解剖学を交えて実技を行った。	
2	臨床運動学	○	10	動作分析や歩行分析における分析手法と運動学・運動力学的視点での分析方法と各疾患別の分析方法について実習を含めて解説した。	
3	理学療法基礎解析学演習	○	15	理学療法研究に関する分析方法、組織学、生化学分析の手法について開設を行った。	
4	理学療法応用技術学D(小児)	○	15	小児の発達と治療アプローチ方法について、実技を交えて実践した。	
5	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の実技を交えて、最近の文献をもとに議論を行った。	
6	理学療法症候障害論 演習	○	8	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について英文誌の読み解く演習と議論を行った。	

(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床教育実習Ⅰ		2週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。	
2	臨床教育実習Ⅱ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。	
3	臨床教育実習Ⅲ		8週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。	
4	臨床教育実習Ⅳ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.4-2026.3	主指導	3名	副指導 0名
2	修士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員）	5名	副指導（指導補助教員） 3名
3	博士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	東京有明医療大学	2025.4-2026.3	柔道整復師学科にてリハビリテーション医学，リハビリテーション実習を担当した。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	第30回日本基礎理学療法学会学術大会	日本基礎理学療法学会	シンポジウム1 メカノバイオロジーがもたらす理学療法とメカノセラピーの融合 シンポジスト		2025.10
2	第30回日本基礎理学療法学会学術大会	日本基礎理学療法学会	ポスター 基礎から臨床への橋渡し研究3 座長		2025.10
3	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	日本運動器理学療法学会	教育講演1 脳内身体表現への介入を考える 司会		2025.11
4	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	日本運動器理学療法学会	主題シンポジウム1 「運動機能障害を可視化する」 座長		2025.11
5	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	日本運動器理学療法学会	企業共催セミナー1 AcceleBody 株式会社 発表 司会		2025.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	社団法人 日本理学療法士協会		編集委員会 委員		2021.4-現在に至る
2	日本基礎理学療法学会		編集委員会 委員		2021.4-現在に至る
3	社団法人 日本基礎理学療法学会		学会評議員		2021.7-2025.10
4	社団法人 日本運動器理学療法学会		監事		2025.10-現在に至る
5	埼玉県理学療法士協会 学会運営審議委員		学会運営審議委員		2020.4-現在に至る
6	専門リハビリテーション研究会		理事		2022.4-現在に至る
7	日本整形内科学研究会		理事		2022.7-現在に至る
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	該当なし				

(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	
1	全学的委員会及びセンター業務等	理事会	
2	全学的委員会及びセンター業務等	経営審議会	
3	全学的委員会及びセンター業務等	法人評価委員会	
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学運営連絡会議	
5	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	
6	全学的委員会及びセンター業務等	研究評価委員会	
7	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター会議	
8	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会	
9	全学的委員会及びセンター業務等	学部教務委員会	
10	全学的委員会及びセンター業務等	IR推進会議	
11	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物室 管理者	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		